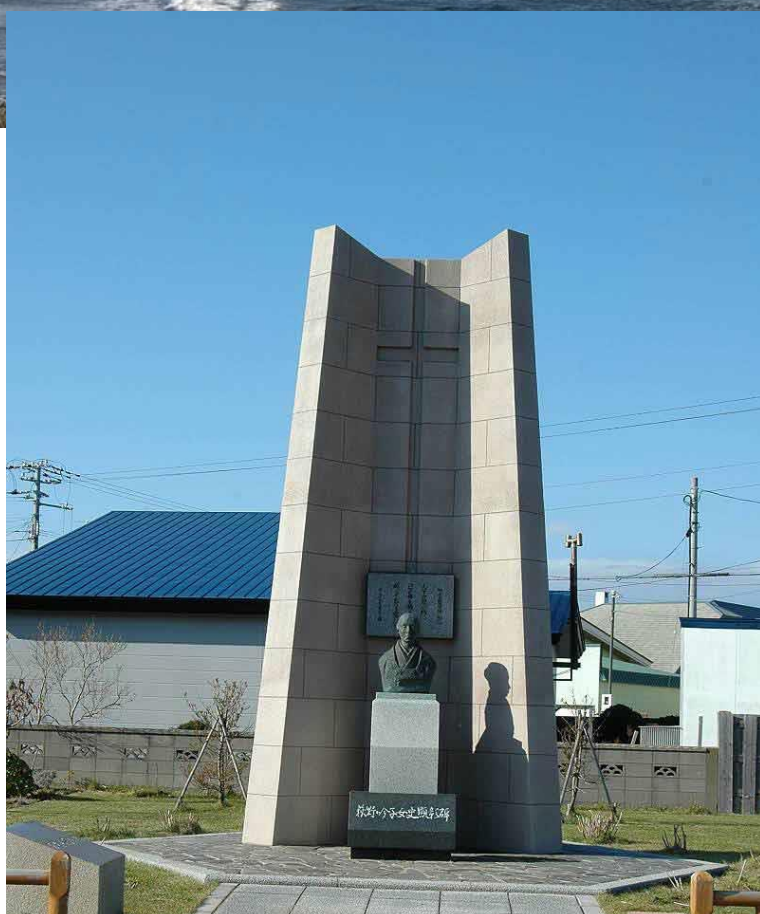
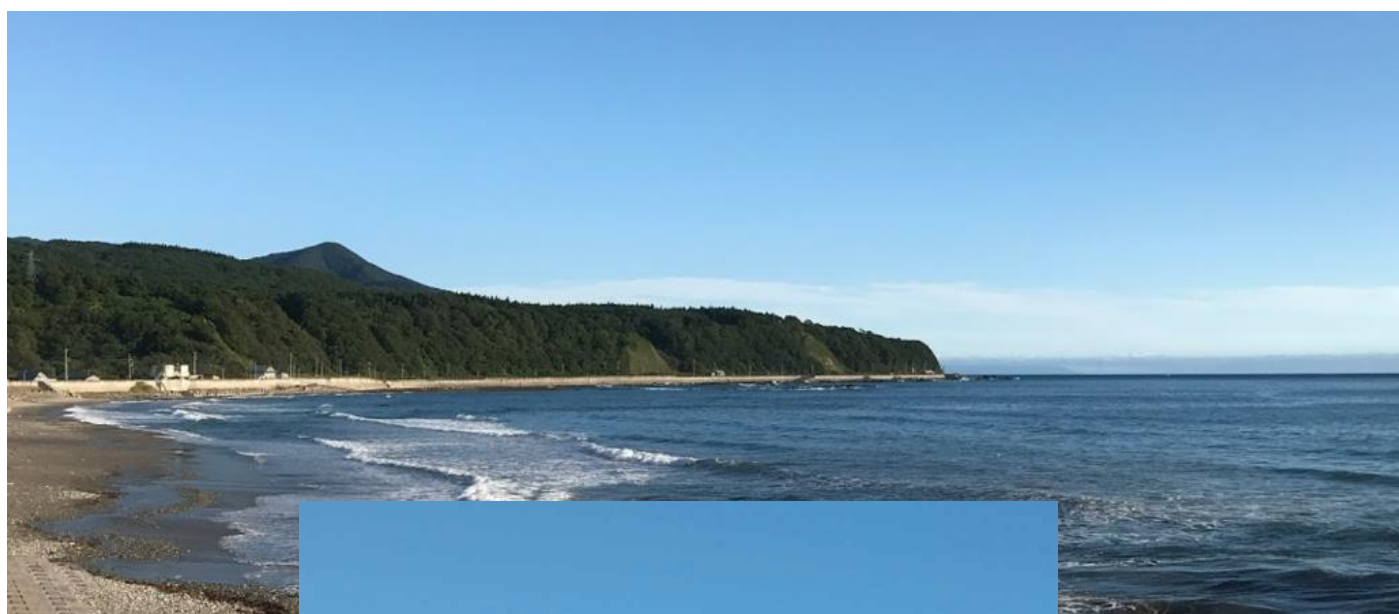


一粒の麦・⑩せたな北海道

瀬棚町は、北海道南西部の檜山支庁北部にあって、日本海に面していた町。2005年9月1日、瀬棚郡瀬棚町・北檜山町・久遠郡大成町の3町が新設合併したことにより、瀬棚町区域は、久遠郡せたな町の合併特例区の一つ「瀬棚区」となった。せたな町の本庁舎は旧北檜山町役場に置かれている。町名の由来はアイヌ語の「セタルペシュペナイ」（犬が泳ぎ渡る川）が略された「セタナイ」から。日本初の女医である荻野吟子は1897年から1908年まで当地で生活した。



荻野吟子記念館 所在地 埼玉県熊谷市俵瀬 581-1

Copyright (C) 2019 oainoainkokinenkan All Rights Reserved.

北海道) 日本初の女性医師 荻野吟子を映画化

北海道にゆかりの深い日本初の女性医師、荻野吟子(1851~1913)を描く映画が製作される。強い意志を貫いて「女医への道」を切り開き、北海道せたな町でも診療した吟子。メガホンをとる山田火砂子(ひさこ)監督(86)は「大いなる愛で弱き人々のために尽くした姿を伝えたい」と語る。

吟子は今の埼玉県熊谷市に生まれた。若くして結婚したが、夫に性感染症をうつされて離婚。その上、産婦人科での治療はすべて男性医師で、羞恥(しゅうち)心と屈辱感に苦しむ。その体験から、自ら医師になって女性患者を助けようと決意する。

だが、女性には「医術開業試験」の受験すら認められていない時代。吟子はさまざまな壁にぶつかりながらも医学を学び、苦難の道を経て34歳で「公許女医第1号」となった。東京で開院したのち、新天地を…

2018.10.28



せたなで荻野吟子の映画撮影

若村麻由美さんら熱演

荻野役の若村さん(左)を励ます船主役の柄本さん=7日午後、檜山管内せたな町

【せたな】檜山管内せたな町で1897年に開業した日本初の女医荻野吟子を描いた映画「一粒の麦 荻野吟子の生涯」を締めくくるせたなロケが7日、2日間の日程で始まり、若村麻由美さんらが熱演した。同町瀬棚区のシンボル・三本杉岩を望む海岸で行われた撮影は、夫を亡くして落ち込む荻野が、再び医師として働く決意を固める場面。柄本明さん演じる北前船船主に「三本杉岩が勇気を与えてくれた」と励まされた荻野役の若村さんが「1人の老いた医師として、命のある限りやり通したいと思います」と答えた。

2019.05.07

